

大阪体育学会第53回大会 基調講演

我が国のスポーツ政策の動向
— 2020 オリンピック・パラリンピックの開催に向けて —
The trend of sport policy in Japan
— The view of The Tokyo 2020 Olympic and Paralympic Games —

森岡 裕策*

Yusaku Morioka

成山 それでは、本日のシンポジウムに先駆けまして基調講演に入らせていただきます。本日のテーマは「我が国のスポーツ政策の動向— 2020 オリンピック・パラリンピックの開催に向けて—」としまして、文部科学省スポーツ・青少年局スポーツ振興課長の森岡裕策先生をお迎えしております。森岡先生どうぞよろしくお願いいたします。森岡先生は和歌山県にお生まれになり、中学校高校を和歌山で過ごされ、筑波大学ならびに大学院で学ばれ、都立高校にご就職なされました。その後、和歌山にお戻りになられ、文部科学省へ、そして和歌山県にまた引き戻された後、また文科省に引き戻され、現在、スポーツ振興課長というお立場でおられます。和歌山のご縁をいただきまして、本日ここにお招きすることができ、我々も本当に光栄に思っております。司会進行係は、大阪産業大学の成山でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

森岡 皆さん、こんにちは。ただいまご紹介いただきました文部科学省スポーツ・青少年局スポーツ振興課長の森岡でございます。現在、文部科学省のスポーツ・青少年局には、体育・スポーツに関しまして3つの課と1つの参事官があります。一つはスポーツ青少年企画課、

もう一つは我々地域スポーツや障害者スポーツを担当しておりますスポーツ振興課、もう一つは国際競技力向上、オリンピック、あるいはワールドカップラグビーやアンチ・ドーピングなどを担当しております競技スポーツ課です。もう一つは学校体育や運動部活動を行う体育参事官です。その他に学校健康教育課や青少年課がありますが、体育・スポーツに関して所掌している課・参事官は4つです。これらが平成27年10月1日にスポーツ庁が設置されると増えます。それは後ほどお話ししますが、今日、いただいたお題が「我が国のスポーツ政策の動向」です。また、「オリンピック・パラリンピックで日本を、大阪を元気に」という大きなテーマもいただいております。

2013年は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が決まった年ではありますが、前半では日本のスポーツ史上最大の危機だと言われた年でありました。まず、「我が国のスポーツの現状について」ということと、「スポーツ基本法・スポーツ基本計画について」、そして「スポーツ指導者の資質能力向上について」。これは、先日公表したばかりで、大阪体育大学の土屋先生にも大変ご協力いただいで策定したものです。4番目には「スポーツ庁設置に向けて」、最後に「2020年に向けた

* 文部科学省スポーツ・青少年局スポーツ振興課